

栗田工業株式会社（東証一部：6370）

# 株主説明会資料

2019年6月27日



KURITA  
70<sup>th</sup> Anniversary

1

クリタの経営戦略

2

総合ソリューション

3

グローバル展開

# クリタの経営戦略

---

# 70年間の歩み

1949年 創業（清缶剤、ボイラ洗浄、船舶機関修理）

1951年 水処理装置事業へ進出

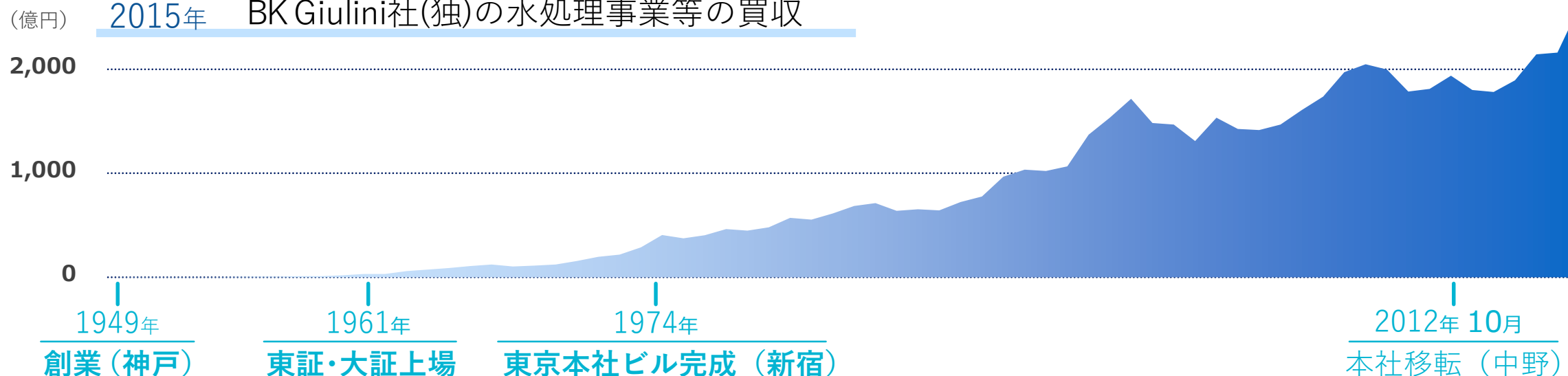
1958年 メンテナンス事業へ進出

1975年 クリタ・ド・ブラジル LTDA. 設立



(億円) 2015年 BK Giulini社(独)の水処理事業等の買収

売上高



経済・産業史

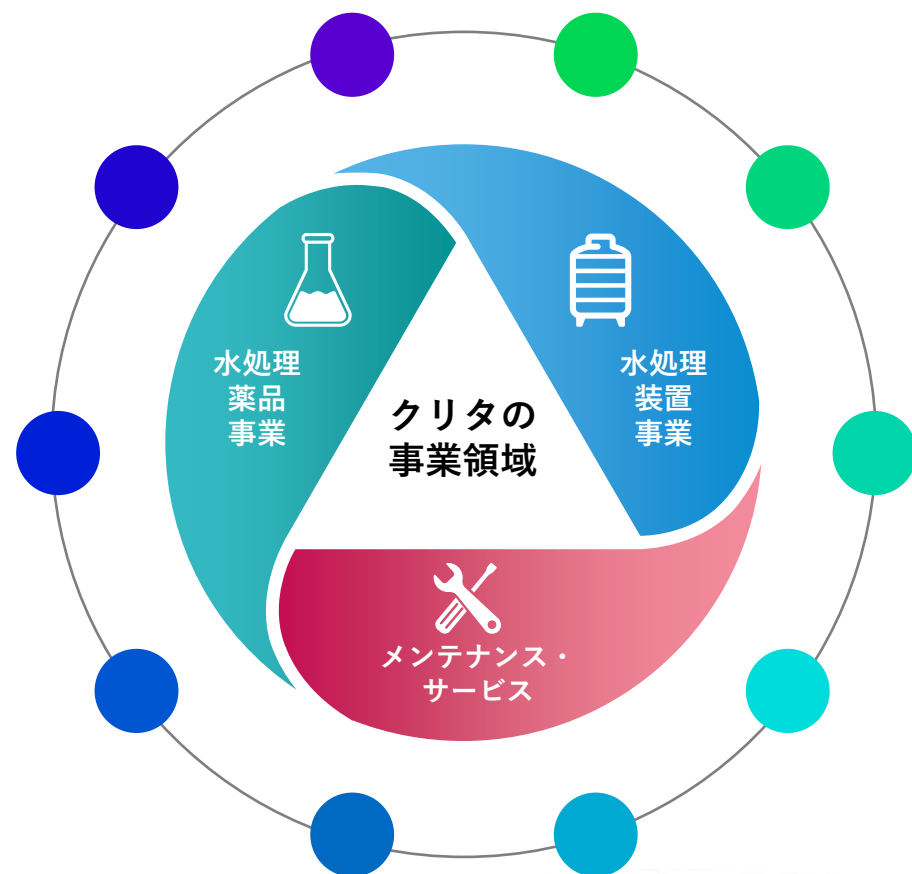
戦後復興期

高度成長期

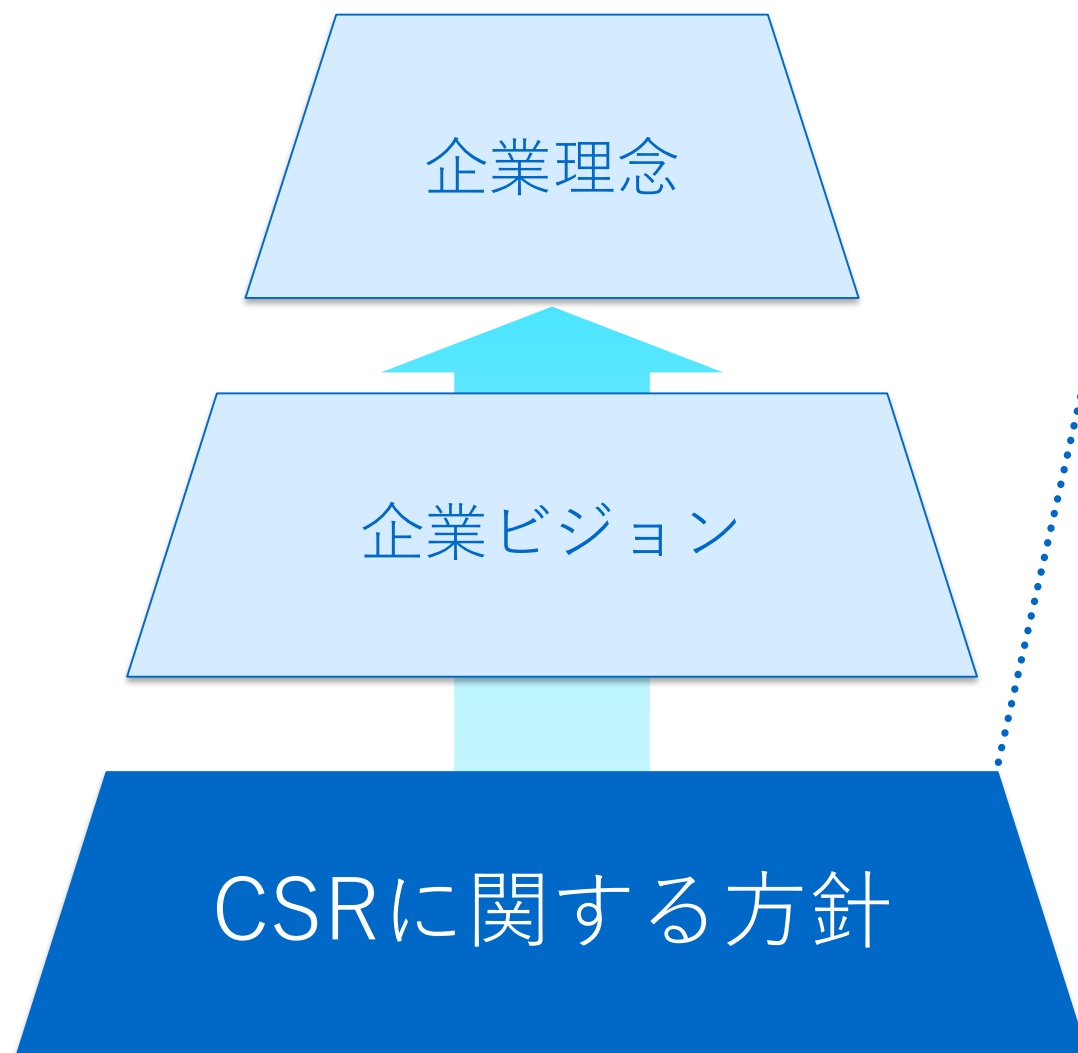
安定成長期

情報化社会進展期

IoTの萌芽期



- 水処理薬品の製造・販売
- 水質分析、環境分析
- 水処理装置の製造・販売
- 化学洗浄、プラント設備洗浄
- 水処理装置のメンテナンス
- 業務用水処理機器、家庭向け商品の製造・販売
- 水処理施設の運転・維持管理
- 精密洗浄
- 土壌・地下水浄化
- 超純水供給



## 定義

クリタグループの社会への影響に対する責任

## 取り組む目的

1. クリタグループと社会の共通価値を創造し  
最大化する  
(=CSV)
2. クリタグループの潜在的悪影響を特定し、  
防止・軽減する

## CSRに関する方針

水と環境の問題にソリューションを提供し、  
未来への責任を果たす

「基礎テーマ」と「成長機会テーマ」により  
構成される





## 01 水資源の問題を解決する



## 02 持続可能なエネルギー利用を実現する



## 03 廃棄物を削減する



## 04 産業の生産技術を進歩させる



- 1) 総合ソリューション展開の加速
- 2) M&Aの推進と迅速なPMI  
(Post Merger Integration)
- 3) 水処理装置事業の生産体制の強化



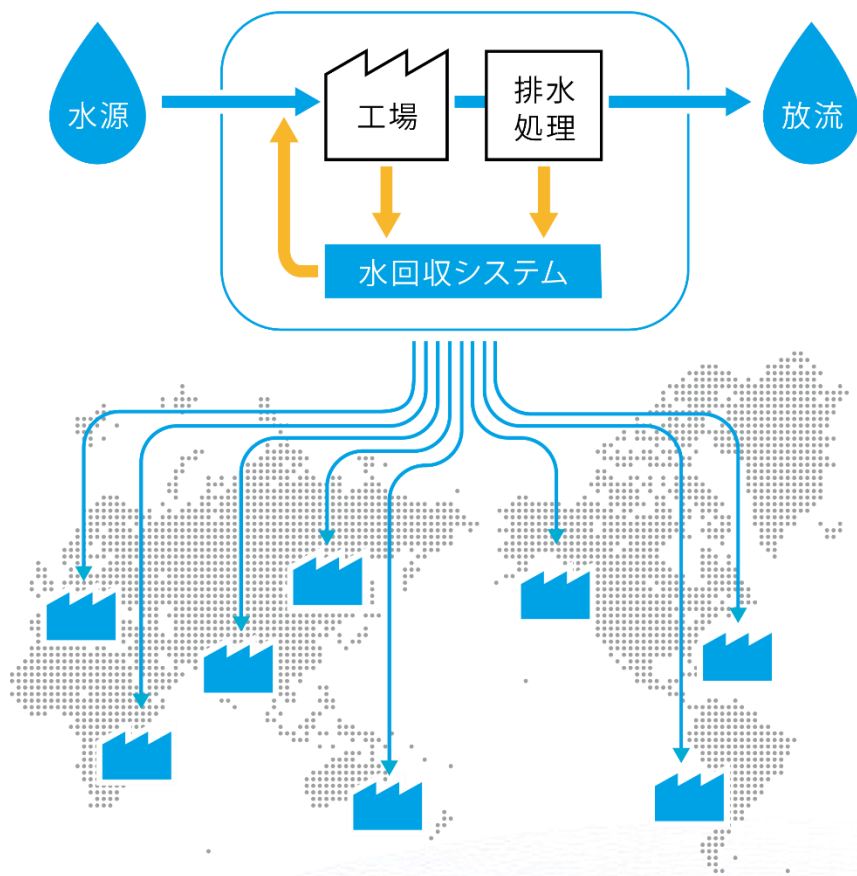
# 総合ソリューション

---

# 01 水資源の問題を解決する

クリタのアプローチ

「水の回収・再利用」の価値をあらゆる産業、地域に提供する



世界中のあらゆる産業・地域へ



水を極限まで有効に利用する



薬品 × 装置 × 最先端テクノロジー



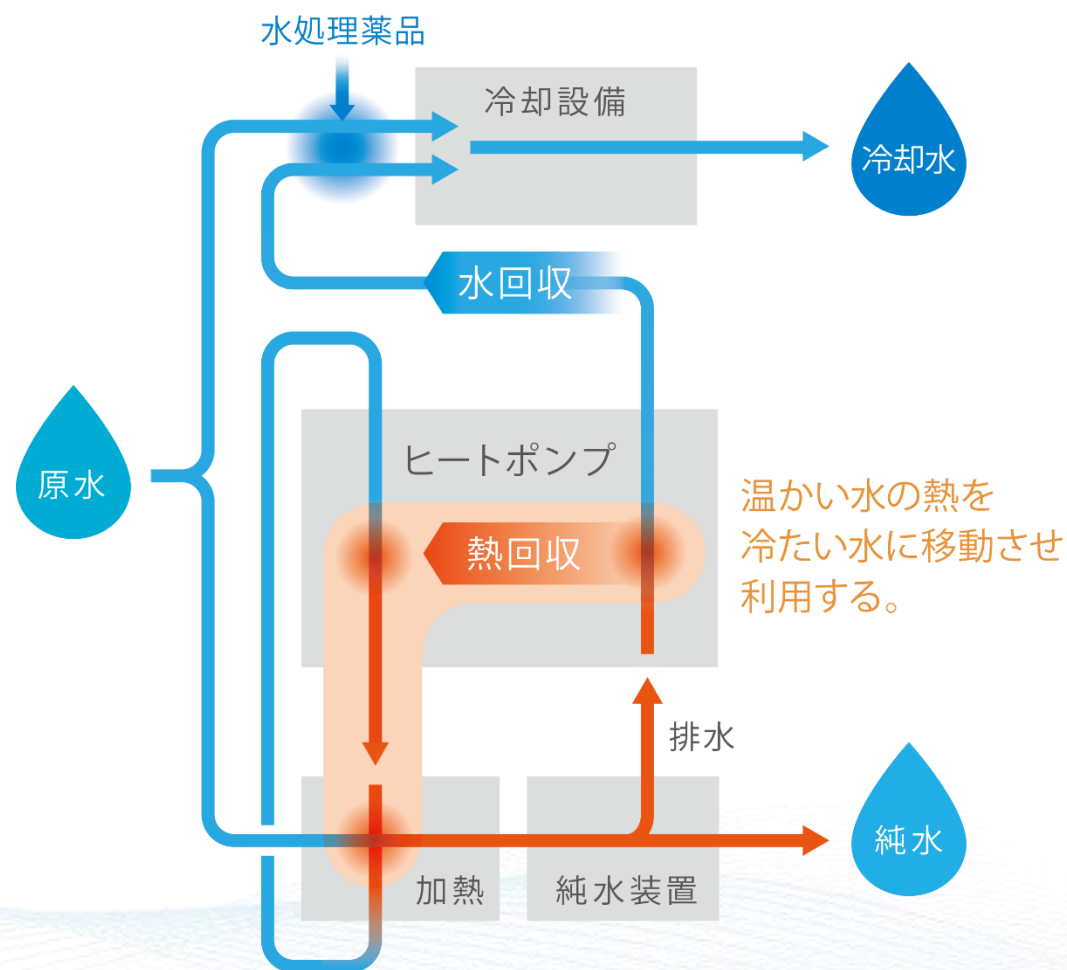
世界中のあらゆる産業・地域への適用

ソリューション例  
「排水回収システム」

## 02 持続可能なエネルギー利用を実現する

クリタのアプローチ

工場全体の水と熱の最適利用を実現する



水の技術をベースにして  
熱エネルギーを無駄なく使う



薬品による熱効率改善 × 熱回収



製造プロセスを含めた工場全体での  
省エネルギー化

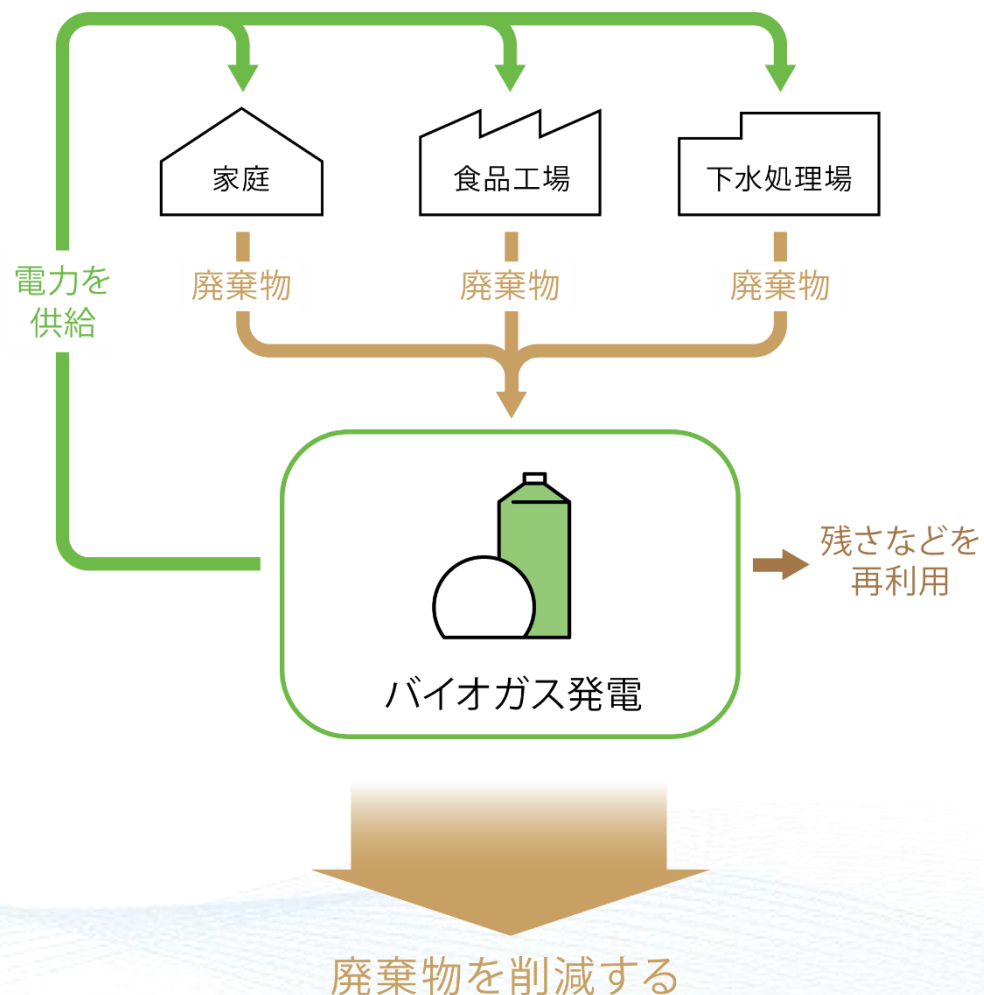
ソリューション例

「水と熱の回収ソリューション」

# 03 廃棄物を削減する

クリタのアプローチ

地域全体で、資源循環型社会をつくりあげる



幅広い廃棄物への適用により、  
地域全体での廃棄物削減を目指す



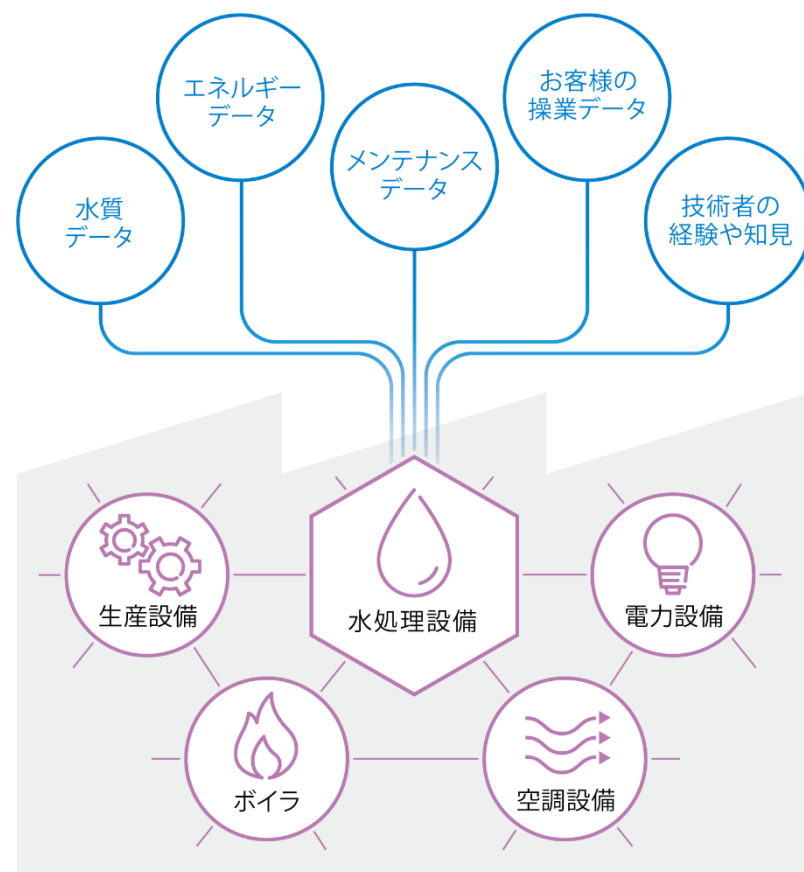
廃棄物の削減 × 廃棄物の再資源化

ソリューション例  
「バイオガス発電」

## 04 産業の生産技術を進歩させる

クリタのアプローチ

お客様とともに、スマートファクトリーの実現を目指す



IoT/AIを用いて工場全体の水処理を最適化



**IoT/AIを駆使して工場全体での  
最適な水処理を追及する**



**顧客データ×クリタのノウハウ**



**水処理設備の自動運転などの  
ソリューションの提供**

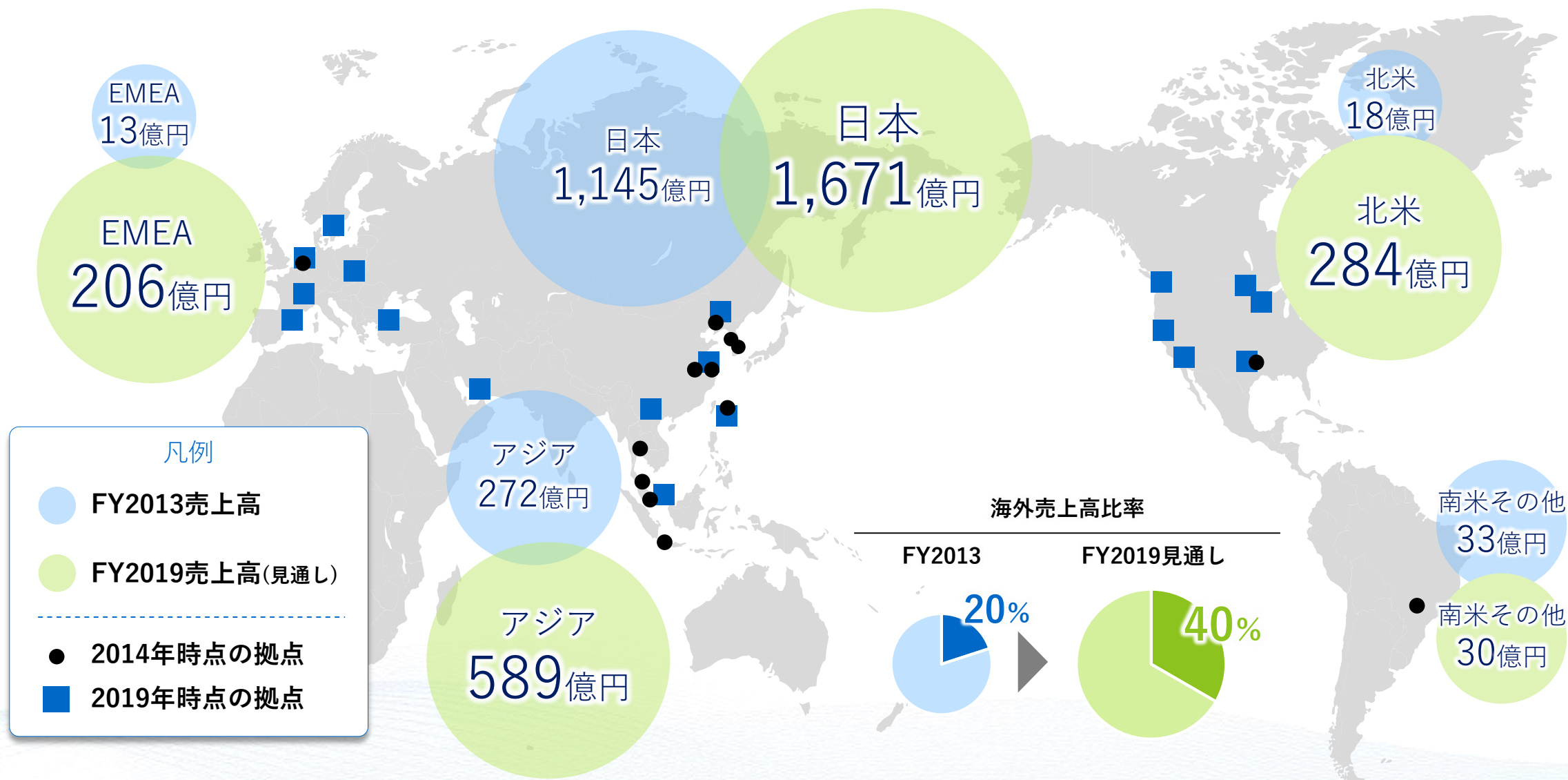
**ソリューション例  
「スマートファクトリー」**

# グローバル展開

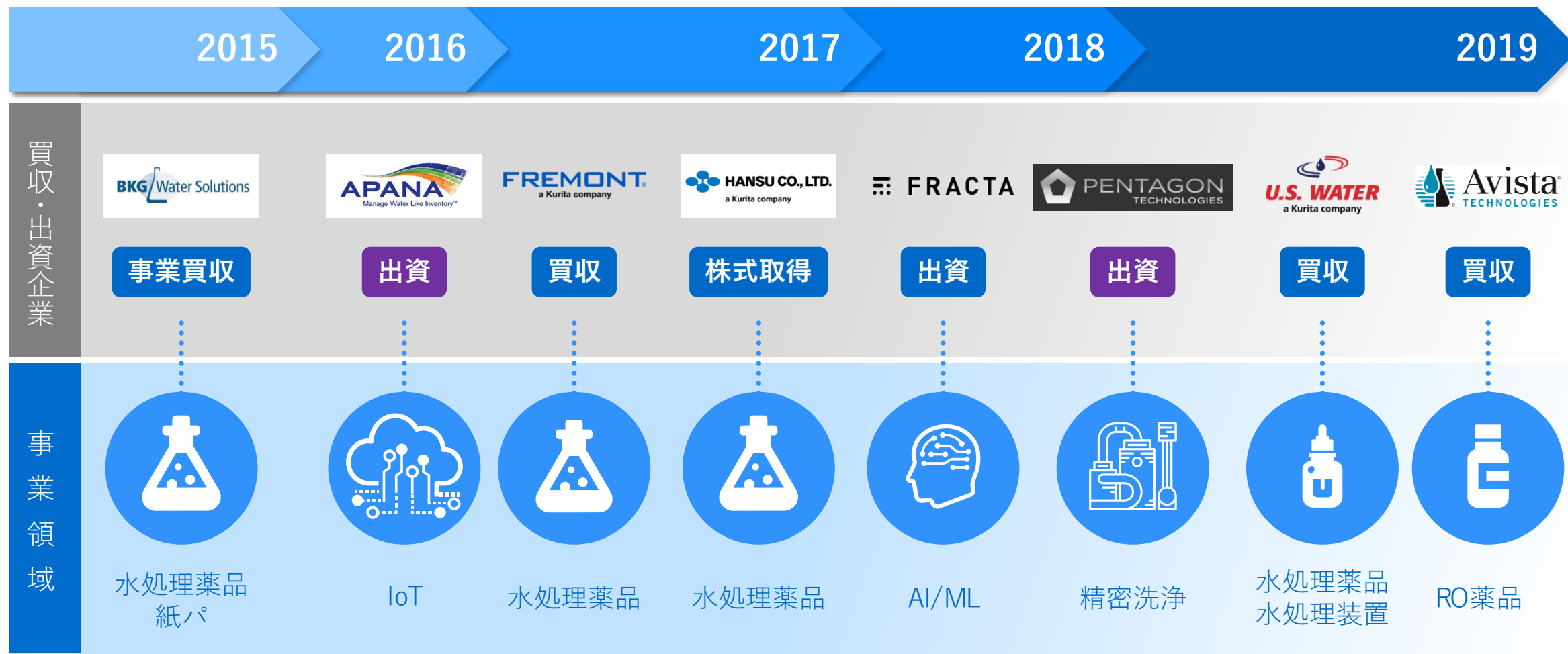
---



# グローバル展開状況



# M&Aの取組



…連結子会社
  …持分法適用関連会社

# 今後のグローバル展開

北米でのプレゼンス向上を図り、グローバルでの存在感をさらに強める

